



こちらの報告書PDFは、認証紙に印刷された認証印刷物のデータを使用して制作しました。

# mitsui kinzoku Integrated Report 2019

三井金属 統合報告書 2019

[2019年3月期]



2019 Constituent  
MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF Mitsui Mining & Smelting Co., Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Mitsui Mining & Smelting Co., Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



Member of SNAM  
Sustainability Index  
2019

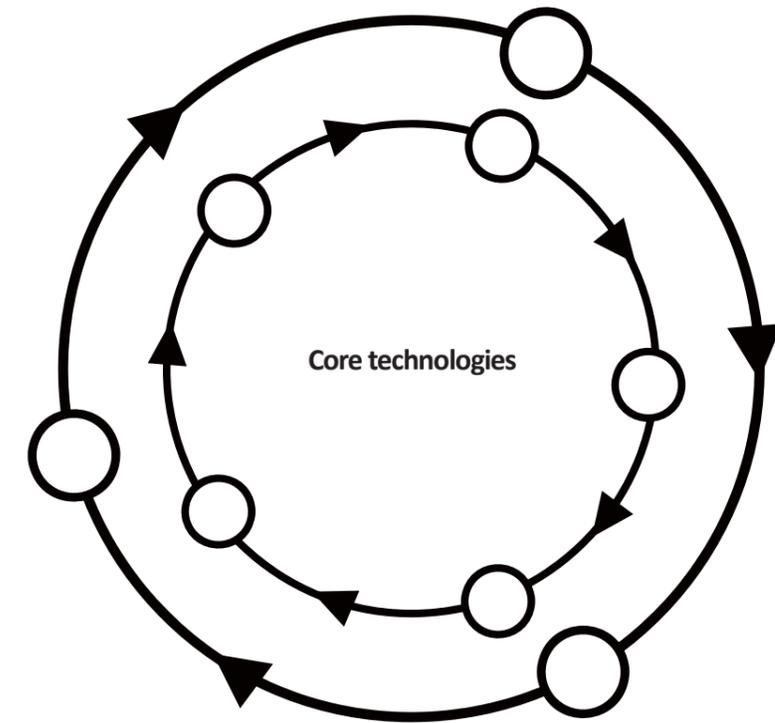


健康経営優良法人  
Health and productivity  
ホワイト500



三井金属

三井金属鉱業株式会社  
広報部 CSR 室  
〒141-8584 東京都品川区大崎1-11-1  
ゲートシティ大崎ウエストタワー  
Telephone 03-5437-8028  
Facsimile 03-5437-8029  
e-mail csr@mitsui-kinzoku.com  
URL <https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>



“Transformation for Sustainable Growth”

# CONTENTS

Integrated Report 2019

mitsui kinzoku

## 「統合報告書2019」の発行にあたって

これまで三井金属グループは、事業概況、経営戦略、業績等の財務情報をアニュアルレポートにて開示してまいりました。また、私たち三井金属グループが果たすべき企業の社会的責任(CSR)に関する考え方や取組みをステークホルダーの皆様にご理解いただくために、2016年度よりCSR報告書を発行してまいりました。

今日、企業の社会的責任への取組みや、深刻化する環境課題・社会課題への事業を通じた取組みを経営に取り込み、企業グループとしての持続可能性を示すことへの要請が高まっています。

三井金属グループは、企業グループとして生み出す価値を、経済的価値と、ステークホルダーや社会全体に対する社会的価値の双方から捉えています。これらの価値とそれを生み出す企業グループの価値創造の全体像をしっかりと開示していくことが、当社の企業価値をより正確に示す手段であると考えています。株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様には、三井金属グループの持続可能性をご理解いただくために、今回より「統合報告書」という形で、財務情報・ESG情報を統合して開示することにしました。

この報告書では、社会・環境課題を起点とした三井金属グループの「価値創造プロセス」を示し、新たに始まった中期経営計画「19中計」の内容を紹介しながら、経営を通してどのように企業価値を高め、社会的価値を生み出していくのかを具体的に記載しました。株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にはこの報告書を通し、三井金属グループが、持続可能な企業体への変革を目指し、経営を通じた持続可能な社会の実現への貢献に努めていることをご理解いただけるものと思えます。

なお、当報告書の編集・作成にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省策定の「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」、GRIのサステナビリティ・レポート・ガイドライン(スタンダード)を参照しています。

また、詳細な財務情報については有価証券報告書にて、詳細なガバナンス情報についてはコーポレート・ガバナンス報告書にてそれぞれご覧いただけます。

[有価証券報告書]

<https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/wp-content/uploads/yuho2019.pdf>

[コーポレート・ガバナンス報告書]

<https://www.mitsui-kinzoku.co.jp/wp-content/uploads/CorporateGovernance190628.pdf>

[報告対象期間]

昨年2018年度(2018年4月-2019年3月)の実績を中心に取り上げておりますが、それ以前の取組み、2019年度に入ってから取組みを紹介した項目もあります。

[報告対象範囲]

当社三井金属、および国内と海外の連結子会社を対象としています。連結外のグループ会社を含む場合には、項目それぞれにおいて、具体的な対象範囲を注記しています。

[将来見直しに関する注意事項]

この報告書には三井金属とそのグループ企業の過去と現在の実事だけでなく、記述時点で入手できた情報に基づく判断・予定・予想が含まれています。そのため、将来の社会情勢や事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があることをご承知おきください。

## 04 三井金属のフィロソフィー

## 06 三井金属の事業のあゆみ

## 08 My commitment 代表取締役社長 西田 計治

世の中が抱えている環境課題・社会課題から自らの責任を果たし、ビジネスの機会を生み出す私たちの価値創造ストーリー

## 12 私たち三井金属の価値創造プロセス

非鉄金属素材メーカーとして永年にわたり培ってきた技術と経験、築いてきたバリューチェーン。  
“マテリアルの知恵を活かす”こと、それこそが、私たちの「価値」を生み出す源です。

## 14 ステークホルダーとマテリアリティ

## 16 財務に対する考え方

## 18 財務ハイライト

## 20 事業戦略 [機能材料事業本部] 機能材料新商品の市場での共創

## 24 事業戦略 [金属事業本部] リサイクル製錬 ～マテリアル・スチュワードシップの推進～

## 26 事業戦略 [自動車部品事業＝三井金属アクト] 持続可能なモビリティに貢献する製品の継続的提供

## 28 価値創造の源泉となる資本

## 30 コーポレート・ガバナンス

## 34 安全衛生

## 36 環境課題への取組み

## 40 コンプライアンス

## 41 人権の尊重

## 44 サプライチェーン・マネジメント

## 46 鉱山事業

## 48 マテリアリティの進捗

## 54 11年間の主要な財務指標の推移

## 56 連結財務諸表

## 64 ESGデータ

## 72 会社情報・株式情報

## 73 第三者保証